

令和3年度 えりも高校 第1回授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：6月7日～6月18日

質問項目（各教科・科目共通）

先生に関する項目	①	授業の目標がわかりやすい。
	②	板書やプリント・P Cの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。
	③	授業の内容や難易度は自分に合っている。
	④	ペアワークやグループワークなど対話的活動により、自分で考えたり発表したりできるような授業である。
	⑤	どのように評価されるか説明している。
	⑥	内容や疑問点について振り返る時間があり、伝えやすい。
生徒自身に関する項目	⑦	話を聞く姿勢を取るなど、ふさわしい態度で学習している。
	⑧	授業に積極的・主体的に参加している。
	⑨	分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。
	⑩	この授業を通して、その科目に関する考え方が深まった。
	⑪	この授業を通して、知識や技能の向上を実感している。

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

4	そう思う。
3	どちらかというと思う。
2	どちらかというと思わない。
1	思わない。

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

3.45以上	A評価
2.90以上	B評価
2.35以上	C評価
2.35未満	D評価

教科（国語科）

①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）

目標・評価規準を、単元や授業の始めに明確に伝える。

②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）

導入・まとめ（ふりかえり）の時間を充実させ、授業のねらいを明確にする。

→具体的方策：1時間、単元時間当たりの授業のまとめを、生徒が行えるような働きかけを行う。（自己評価含む。）

→それをもとに、授業者は授業の難易度を検討・調整。

③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

ペア・グループ活動などの対話的活動がある授業という評価は高いが、一方で、分かりやすく発表したりまとめたりすることができているという評価が低い。併せて、科目に関する関心・知識や技能の向上に関する項目も他と比較すると低い。

→活動するだけになっていないか、今一度、活動の意義・必要性を考える必要がある。

教科（地歴公民科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
生徒が教科書から調べたり、事象について考えたりする活動の設定を心掛けた。その設定は生徒に対して伝わっている部分が増えたと考えられる。知識のみの注入ではない授業を心掛けたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
各学年、授業の難易度について、低く表れている。生徒に「何が身についたのか」を実感させるまとめや振り返りを各単元で1回以上行いたい。難易度が高いと感じる生徒は増えていくと感じる。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
基礎基本の徹底を図り、生徒が「できる」といった実感を持たせたい。

教科（数学科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
1年生は既習事項が多かったため、理解度、満足度ともに高かったと思える。3年生は選択授業であり、内容が自分に合うものも多いため、学習意欲につながっている部分があると思われる。2年生基礎クラスにおいては、メンバー固定の成果が表れつつある。1年生については次年度どうするか早めに検討しなければならない。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
「まとめ・発表」や「教科への興味・関心」についての生徒評価は高くない。生徒の理解度に応じた問題精選や数学的話題の提供など、研鑽を重ねていかねばならない。また発表する機会を増やして実践する場を設けていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
評価が高いのは良いことだが、真剣に考えずに評価している生徒も多くいると思われる。生徒に真剣に回答させるよう工夫をしていきたい。 3年生のBS数学で今年度は2クラス展開でやったが、効果はあったと思う。次年度以降どのようにしていくか検討していきたい。

教科（理科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
2、3学年は全般的に評価が高く、モチベーションもあると思われる。今後も引き続き生徒のやる気を引き出す授業を心掛けたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
1年生で評価Bが付いたものが多かった。生徒の興味関心を引き出す工夫や、実験を中心としたグループ活動をしていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

教科（保健体育科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
1年生 概ね点数が高い。特に、ペアワークやグループワークなども可能な範囲で今後も継続していきたい。 2年生 概ね点数が高い。特に、自己を振り返ることができるように評価の観点も適宜提示していく。 3年生 概ね点数が高い。特に、主体的活動の中での目標をしっかり持たせたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
1年生 ⑨の発表項目が他に比べ低い、まだまだこれから慣れていく段階なので後期にはこの数値が上昇するように意識的に発表活動を盛り込んでいく。 2年生 ⑨の発表項目が他に比べ低い、まだ周りにわかりやすく伝えるための方法等を掴めていないので、まずは生徒自身がしっかりと理解できるような指導方法を工夫していきたい。 3年生 ⑨の発表項目が他に比べ低い、3年生になってから自分たちで活動を計画しながら進めていく学習活動が増えたことにより、取り組みが甘いと十分な達成感が得られにくくなっていることが要因に挙げられる。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

教科（英語科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
全学年、ほとんどの項目でA評価であった。年々、各学年の生徒数が徐々に減少していることにより、教員1名に対する生徒数が少なくなっていることから、より生徒一人一人へ、きめ細かな習熟度別授業が実施できていると感じている。より一層その効果が表れるよう、今後も、発展クラスはより高みを目指せる指導を、そして標準・基礎クラスの生徒も「できる・わかる」を授業の中で実感できるように、基礎基本の反復学習を重点的に行い、生徒が主体的に学習できるような授業展開を心掛けたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
1、3学年において、授業を受けての「学力・技能の向上」と「興味・関心の深まり」の項目でB評価であった。1学年においては、授業内容が中学校の内容もあることから、まだこれら2点の項目を実感できにくいのではないかと思います。また、3学年においては、専門科目も増え、学習内容がより高度になってきていることから、理解が難しくなっている生徒もいるのではないかと推測する。今後も、生徒の理解についての実態を把握し、スモールステップで授業展開が行えるように工夫していきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
今後も継続して、各授業でのねらいやポイントを提示し、何を学ぶのか、どのような技能が身につくのかなどを明らかにした授業展開をもっと心掛けていきたい。また、英語運用能力を高められるよう、学んだ内容を活用した表現活動にも力を入れていきたい。

教科（家庭科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） 今年度も新型コロナウイルス感染症予防の影響で授業形態や内容を例年とは違った形で取り入れることとなった。しかし、感染予防を実施しながら、実習形式や実践的な内容の学習を進めることができた。今後も続けていきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 生徒はよく学習しており、積極的に取り組んでいる。何を学び、何ができるようになったか実感を伴うことができるような授業の研鑽に努めたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 3学年の科目では外部講師に来ていただき地域と連携した授業を実施している。感染対策をしながら、今後とも、実施していきたい。

教科（商業・情報科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） 全学年とも全体的に評価が高かった。 実技科目が多く、自分の進路に直結した授業が多いと考える。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 「わかりやすく発信したりまとめたりできている」の項目は全学年ともに低かった。 → 授業内での発表の機会をふやすことで改善を図る。 2学年に比べると、3年生の「その教科に対する興味関心が高まった」という項目が低かった。 → 進路決定後、意欲が低くなる生徒の支援をしていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動